

## 授業科目 臨床実習Ⅰ（検査・測定）

【担当教員名】 高橋 英明		対象学年	2	対象学科	理学
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	3	時間数	135
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：GI0】					
<p>&lt;概要&gt;</p> <p>臨床実習の一般目標の核心部分は、臨床において理学療法の対象者との適切な接し方を身につけることである。その上で、自分自身が持つ知識、技術、人間性、責任感、連携能力を最大限に発揮して理学療法を実践し、さらに省察を通して向上心が高めることが求められる。臨床実習Ⅰでは、臨床実習施設指導者の指導による見学実習、模擬患者を対象とした接遇・コミュニケーション学内演習を経て、臨床実習指導者の指導の下で、検査・測定を実践する。</p> <p>&lt;一般目標&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 理学療法施行に関し、倫理的、法的および専門職の観点に立った責任感の形成、向上に努める姿勢を身につける</li> <li>2. 理学療法対象疾患、障害に関わる対象者の方に対する全般的な理学療法業務の流れを理解する</li> <li>3. 病院・施設と理学療法部門の組織や機構の相互関係を学ぶ</li> <li>4. 関連する医療業務の役割と理学療法業務との相互関係を認識する</li> <li>5. 理学療法を展開するために、保健、医療、福祉との関係が重要なことを認識する</li> </ol>					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対象者や施設職員に対する接遇およびコミュニケーションを適切に行える</li> <li>2. 臨床における理学療法の内容とその対象者について説明できる</li> <li>3. 理学療法に関する情報、見学した内容、検査・測定の結果などを適切に記録できる</li> <li>4. 実習において経験した内容を整理し、説明できる</li> <li>5. 臨床における安全面への配慮を理解し、説明できる</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション			1-5	講義および演習を含む
2	グループワーク			1-5	講義および演習を含む
3	学内演習			1-5	講義および演習を含む
4	各施設での見学実習			1-5	各施設臨床実習指導者
5	学内面接実習			1-5	講義および演習を含む
6	各施設での検査・測定実習			1-5	各施設臨床実習指導者
7	実習後セミナー			1-5	実習のまとめと発表
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		リハビリテーションリスク管理ハンドブック 改訂第2版	亀田メディカルセンター (編)	メジカルビュー社	2012・4,410円
参考書		臨床実習とケーススタディ 診察と手技がみえる	鶴見隆正 (編) 古谷伸之 (編)	医学書院 メディックメディア	2007・4,700円+税 2009・6,000円+税
その他の資料		臨床実習の手引き (学生実習要綱)			学科作成資料 (オリエンテーション時に配布)
【評価方法】 出欠、グループワーク、面接実習、セミナー発表、レポート提出および臨床実習状況を総合的に評価する。			【履修上の留意点】 臨床実習Ⅰの履修基準を確認すること。		